



今年は早々と6月27日に梅雨明け宣言が出ました。これから夏へ突入です。  
夏風邪シーズンの到来です！ ヘルパンギーナ・手足口病・プール熱が3大夏かせです。

**ヘルパンギーナ** 突然の発熱とノドの痛みを訴えます。  
高熱が1日～4日、ノドの奥には水疱や発赤、ひどいときは潰瘍になります。  
なので、食欲があっても、ノドが痛くて食べられません。  
飲み込めないためよだれが増えます。  
下痢や嘔吐といった胃腸症状がみられることもあります。  
だいたい4～6日間で治ります。

**手足口病** 名前のとおり、手のひら・足の裏・口の中に点状の赤い発疹や小さな水疱ができます。  
膝やお尻にもできることがあります。  
熱は出ることもありますが2/3の人は熱が出ません。  
ヘルパンギーナと同じコクサッキーウイルス属が原因の場合、  
『ヘルパンギーナからの手足口病』ということがあり得ます。

**\*ヘルパンギーナ、手足口病ともに同じような仲間のウイルス感染症です。**

主に飛沫感染でうつりますが、便の中にもウイルスがでます。  
なんと！回復期に2～4週間もウイルスが出ます。  
予防注射はありません。  
他への感染を心配して園を休ませる必要はありませんが、熱や口の中が痛い時は自宅で安静に。  
**水分が取れない・頭痛・嘔吐・脈が速い**・・・などの時は病院を受診しましょう。

**プール熱** せき・くしゃみ・目やに・便からうつります。  
以前はプールでの感染が多かったため < **プール熱** > と呼ばれるようになりました。  
アデノウイルスにはアルコール消毒が効きません。  
流水による手洗いをしっかりしてください。  
治療は対症療法です。  
**高熱が出た場合や目やにがひどい時は病院受診**

同じアデノウイルス感染でも『流行性角結膜炎』いわゆる< はやり目 > はかかると2～3週間園をお休みしなくてははいけません。目が赤い・目やにがひどい！こんな時は**早めに眼科へ！**



# 7月号続き 2023年

## いつから登園・登校していいの？ 気になる夏の病気たち



ヘルパンギーナ	症状が落ち着いて、全身状態が良ければ 可
手足口病	症状が落ち着いて、全身状態が良ければ 可
伝染性紅斑（リンゴ病）	症状が落ち着いて、全身状態が良ければ 可
溶連菌感染症	お薬開始して24時間経てば 可
ロタウィルス	下痢・嘔吐がなくなったら 可
ノロウィルス	下痢・嘔吐がなくなったら 可



季節外れの**インフルエンザ**が流行っているようです。埼玉はそれ程ではありませんが他県では学級閉鎖も・コロナ感染症が流行する前は、みんな少しずつでも罹っており免疫が出来ていたので、大流行や季節外れの流行が抑えられていたのでしょう。ところがコロナのためにマスク・手洗いで冬場に軽く罹ることもなく今季、季節外れのインフルエンザの流行を迎えてしまったように感じます。

この状況を踏まえると、今年のインフルエンザの流行は例年よりも早く・ひどくなるものと予想されます。インフルエンザには治療薬があるため、さらに小児は自治体からの医療費補助があるために、お金の掛かる予防接種を控える場合も見受けられます。予防接種で100%感染予防ができるわけではありませんが実際に接種しなかった場合と比べて、インフルエンザによる死亡を1/5に、入院を1/3から1/2に減少させることが期待できると言われています。

接種して罹る方がしていなくて罹るよりも **軽症**になります。

今年は例年よりも早い時期の接種をお勧めします。13歳未満は2回、65歳以上は1回。13~65歳は1~2回  
いつもは11月に1回目、2回目を12月中に。遅くとも1月中には2回接種を済ませましょうとご案内していますが

### 今年は年内に接種し終わるようにしましょう！！



小児科医 副院長

椎貝 典子